

学 会 記 事

◎常議員会(昭.33.3.31) 出席者：内海会長，米田，篠原両副会長，浅野，小池，河野，竹内，三浦，樋浦，永井の各常議員，計 10 名。那波，真田，岡田，平山の各前会長，小野名誉員，東，飯吉，逸見の各理事。委任状 26 通(粟津，垣本，五味，小村，佐藤，林，有江，伊福部，高木，中村，平井，牧野，足立，井上，上野，川村，橋本，堀場，稲垣，小田，米谷，佐々木，庄司，西村，江里口，山崎)。議事：1) 准員制廃止にともなう定款改正を総会に提案すること，およびそれにともなう規則の改正案を承認。2) 昭和 33 年度事業計画を東総務部長説明の上承認。

本部事業計画

4 月 関東地区常議員半数改選，5 月 水理講演会，常議員会，通常総会，第 13 回年次学術講演会，見学会(東京)，8 月 夏季講習会(新材料・新工法)，9 月 橋梁構造工学研究発表会，第 8 回応用力学連合講演会，第 2 回地震工学研究発表会，10 月 第 2 回材料試験連合講演会(京都)，11 月 秋のエキスカージョン，海岸工学講演会，3 月 常議員会，その他随時講演会，映画会を開催のこと。

各種委員会

- 会誌編集委員会(毎月 1 回)
- 会誌編集小委員会(毎月 1 回)
- 会誌抄録委員会(毎月 1 回)
- 論文集編集委員会(隔月各部会および部長会)
- 水理委員会：研究講演会，年報および論文集の編集
- コンクリート示方書改訂委員会 } コンクリート示方書解説の審議
- コンクリート示方書解説委員会 }
- プレストレスト コンクリート委員会：一応指針を発刊したが，なお常置して研究を進めること
- 土木工学そう書委員会：そう書の企画
- 製図規格委員会：各部門の基準を研究中
- 海外連絡委員会：国際会議との連絡
- 橋梁構造委員会：JSC 国内連絡委員会の分科会として毎年研究発表会を開催
- 土木賞委員会：土木賞のせん衡
- 海岸工学委員会：研究，講演会
- 海岸保全施設小委員会：海岸保全施設の設計基準の制定
- 波力小委員会：波力に関する実験研究
- 耐震工学委員会：耐震構造の研究，第 2 回耐震工学研究発表会，第 2 回国際地震工学会議の準備
- 大正以降土木史編集委員会：各委員執筆中
- 土木用語常議事典委員会：用語選定中
- 土木振興対策委員会：土木技術の振興策
- 土木設計監理小委員会：土木設計監理基準の審議
- 原子力土木技術委員会：原子力に関する土木技術の研究
- フライアッシュ小委員会：フライアッシュの研究
- コンクリート鉄道構造物委員会：国鉄委託によるコンクリート構造物の研究
- 高張力鋼鉄道橋研究委員会：高張力鋼鉄道橋設計示方書の研究
- 土木会館用地委員会：用地取得に努力中
- 定款改正特別委員会：定款全面的改正に関し研究起案

3) 昭和 33 年度収支予算を飯吉経理部長説明の上承認。

収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 会 費	16 571 000	I 事 務 費	7 260 000
II 政府補助金	100 000	II 会 議 費	330 000
III 諸刊行物収入	7 213 000	III 負 担 金	140 000
IV 雑 収 入	2 520 000	IV 支 部 交 付 金	1 500 000
		V 事 業 費	16 654 000
		VI 施 設 管 理 費	100 000
		VII 引 当 金	300 000
		VIII 予 備 費	120 000
合 計	26 404 000	合 計	26 404 000

4) 高坂理事の後任として国鉄建設局計画課長 渡辺寅雄君を選任。5) 定款改正特別委員会を設置することを承認。報告事項：1) 昭和 32 年度土木賞受賞者決定について，2) 学会の現況，3) その他。

◎第 10 回理事会(昭.33.3.20) 出席者：内海会長，米田，篠原両副会長，東，中安，飯吉，国分，丸安，米屋，野田，逸見の各理事。議事：1) 2 月中の行事その他報告，2) 昭和 33 年度事業計画について，3) 昭和 33 年度収支予算について，4) 地方委員に交通費の一部支給内規の制定について，5) 准員制廃止に關し土木振興対策委員会の答申，准員に対するアンケートの結果にもとづいて定款，規則の改正案を常議員会に諮議することについて，6) 定款改正特別委員会設置について，7) 高坂理事の後任に渡辺寅雄君を常議員会に推挙について，8) 夏季講習会「新材料と新工法」の課題および講師について，9) 常議員会開催日について，10) 関東地区常議員半数改選について，11) 総会および年次講演会次第について，12) 第 2 回材料試験連合講演会運営委員会に委員推薦について，13) 中部支部長に中島 武君，西部支部長に渡辺寛治君を委嘱について，14) 2 月中の会員入退会承認。

◎各種委員会

1. 第 10 回会誌編集委員会(昭.33.3.24) 糸川，丸安正副委員長，森，尾形，栗栖(代)，奥田(代吉岡)，大野(代佐藤)，三上(代米沢)，安藤(代)，南各委員，深谷幹事。協議事項：1) 投稿原稿審査報告，2) 原稿依頼状況，3) 依頼原稿の件，4) その他，5) 43 巻 5 月号誌登載原稿を次のとおり予定した。

末松 栄：欧米を視察して，小沢久太郎：東南アジアを巡りて，石原謙次郎：米国の工業教育について，岡部三郎：北海道連絡問題と港湾，松原賢太郎：欧州における鉄道の保線，坂口麗紀夫：鉱山における廃滓かん止堤について。

2. 第 10 回会誌編集小委員会(昭.33.3.5) 出席者：糸川委員長，久保，奥田(代吉岡)両委員，深谷幹事。議事：43 巻 4 月号誌編集について最終審議を行った。

3. 第 10 回会誌抄録委員会(昭.33.3.4) 出席者：八十島委員長，伊能，堀井，佐藤，垣中，高秀，矢島(代千秋)，高橋，松本，渡部の各委員。議事：1) 43 巻第 4 号登載抄録決定。2) 抄録と文献紹介のページ数割当増加について。3) 松本嘉司委員渡仏のため辞任，後任に野口 功君を推すこと。

4. 第 2 回土木賞委員会(昭.33.3.6) 出席者：青木委員長，伊藤，岩井(代広田)，太田尾，小野(堤)，佐藤，平井，星埜，松井，米屋，原田，大崎，内林，渡辺，篠原，国分，糸川，友永の各委員。議事：1) 第 1 回委員会議事録を検討し，第 1 回委員会における決議事項を再確認した。2) 第 3 回委員会は 3 月 25 日(火)開催と定めた。3) 土木賞候補論文学会賞 4 編，奨励賞 7 編の推薦理由を糸川，友永の両委員より説明した後，各編に關

してそれぞれ討議した。第1回委員会の決議により説明補助員として後藤、山田、佐藤、春日屋の編集委員が出席し、各委員からの質問に答えた。4) 各委員は推薦された論文のうちから、優秀と思われる論文を学会賞2編以下、奨励賞2編以下を選定し3月25日までに学会へ必着するよう投票することに定めた。投票用紙は第2回委員会議事録とともに、後日、各委員へ送付する。5) 授賞論文の編数は、投票の結果から第3回委員会において決定する。第3回土木賞委員会(昭.33.3.25)出席者:青木委員長、東、伊藤、太田尾、神谷、小野木、小西、種谷、星埜、松井、米屋、原田、大崎、内林、国分、糸川、友永の各委員。議事:1)第2回委員会議事録を検討し、その決議事項を再確認した。2)各委員からの投票26通を開票の結果、授賞者を次のとおり決定し、理事会および常議員会に報告することとした。

学会賞:上水道配水管路の設計上の諸問題

正員 扇田彦一 君

奨励賞:アーチダムに働く地震時動水圧
アーチダムに働く動水圧の模型実験
不規則な地震動による動水圧
動水圧の減衰作用がダムの耐震性におよぼす影響について

准員 小坪清真 君

河床における砂礫堆の形成について

一蛇行実態の一考察一

正員 木下良作 君

5. 第66回コンクリート鉄道構造物委員会(昭.33.3.7)出席者:吉田委員長、岡本、国分、平井、友永の各委員、三浦、天野、牧野(代尾崎)、佐藤、白石、川口、深谷、小寺の各幹事。議事:ラーメンの隅角部における設計ラーメンにおけるKS荷重の等値等分布荷重を審議し、第1節ラーメンの第2読会終了。第67回同委員会(昭.33.3.27)出席者:吉田委員長、国分、最上の両委員、尾崎、白石、高橋、野口、堀口、牧野、川口、深谷、小寺の各幹事。議事:5章 基礎工、6章 橋台および橋脚、7章 ラーメンおよびアーチ、8章 擁壁、を審議してそれぞれ結論を得た。

6. 第5回論文集編集各部会(昭.33.3.10)出席者:第1部会—安浪、大地、奥村、山口の各委員。第2部会—岡田、松田、千秋、嶋の各委員。第3部会—佐藤、三木、市原の各委員。第4部会—友永、黒河内、春日屋、及川の各委員。議事:各部会で原稿の審査報告および審査委員の決定。

7. 第5回論文集編集各部会長会(昭.33.3.17)出席者:友永委員長、佐藤、山田両部会長、山口、嶋、市原、春日屋、徳平の各幹事。議事:1)各部会報告。2)論文集56号登載原稿を次のとおり予定した。

流出関数による由良川洪水の解析(石原藤次郎、高瀬信忠)

土のシントロビーと路床支持力(森 嗣)

流量算定式の精度と測定方式の提唱(春日屋伸昌)

振動切削について(村山朔郎、島 昭次郎、齋藤 実)

ボーリング孔を利用せる非定常流透水路試験について(小田英一)

傾斜面上汚濁の2軸および3軸自重圧密の実験的考察(川島 晋)

部分的に固定された辺を有する単純支持矩形板の曲げについて(倉田 宗章、波多野昭吾)

不静定構造物の弾性重心の拡張の定義について(島田静雄)

On the Distribution of Suspended Sediment in Natural Rivers(田中 茂、杉本修一)

3) 著者単独論文集の取扱い方について。

8. 第16回土木設計監理小委員会(昭.33.3.14)出席者:平山振興対策委員長、比企委員長、加納、仁杉(代高橋)、久保、増山、塘、八十島、秋山(代近藤)、吉田(良)、鳥居の各委員。磯部幹事。議事:第1編設計および監理業務の第2条(定義)ならびに第8条(原第9条)までの訂正分を再読。2)第1編第9条(原第10条)以下第19条までを審議。第17回同委員会(昭.33.3.15)出席者:平山振興対策委員長。比企委員長、加納、田中、仁杉(代高橋)、久保、増山、塘、八十島、吉田(良)の各委員、磯部幹事。議事:1)第1編第20条(原第21条)以下全部。2)第2編を“技術士の委嘱”と改め第27条まで全部。3)第2編付則を“第3章関連業務”と改める。4)本日をもつて一応第2読会を終り原案を整理して本委員会に報告する。解説は比企委員長、磯部幹事によつて起草する。5)加納委員提案の第1編設計および監理業務に追加の“工事管理(施工業務)”は土木設計および監理業務基準とは性質が異なるから保留する。

9. 第8回応力連合講演会運営委員会(昭.33.3.18)出席者:(土木)奥村、最上、米屋、(物理)阿阪、今井、近藤、谷の各委員。(JSC)佐々木事務官。議事:1)日程:昭.33.9.6~8。2)会場:東大工学部2号館。3)講演募集要項の各事項を審議決定。4)特別講演はアメリカMACA研究所に交渉して講演を依頼し、ほかに土木関係1題、物理関係1題を計画する。5)映画会、見学会は特別講演各分科講演数の状況によつて考える。6)懇親会は計画する。7)4月8日職員打合せ。8)第2回運営委員会はアメリカからの返事あり次第開催する。

10. 高張力鋼鉄道橋研究委員会(昭.33.3.27)出席者:田中委員長、青木、小西、成瀬、福田、奥村、友永、田原、多田、田中(五)、中根の各委員。西村、田島、阿部、大宮、安浪、安藤、伊藤、白石の各幹事。議事:総則、材料、許容応力、許容応力の割増、橋台橋脚に関し検討を終り本年度の報告をまとめた。

支 部 だ よ り

東北支部 技術研究発表会(昭.33.3.6)聴講者120余名で非常に盛況であつた。研究発表題目および発表者は次のとおり。

1. 温度勾配による土中水分の移動(東北大・阿部泰夫、伊藤義孝)

2. プレストレスを加えた剪断面3径間連続桁の径間割(東北大・加藤輝夫)

3. コンクリート舗装目地材(防衛庁・葛西茂雄)

4. 磐城街道跨線道路橋構架換工(郡山保線区・浅田道正)

5. 塩釜港 1万t 岸壁上部工設計 (第2港建・青山正幸)
6. 鳴子ダム の構造作用の実測および観測 (鳴子ダム・金子 晃)
7. 河川蛇行および河川流速分布の一考察 (山形県・伊藤秀夫)
8. 鉄道路盤の調査 (国鉄・桜井芳男)
9. 低落差発電所 (東北電力・高畑克巳)
10. 真山運河の水理 (宮城県・高橋一)
11. 広瀬橋 (宮城県・佐々木正栄)
12. 寒風沢吊橋 (鳴子ダム・千葉喜味夫)

中部支部 第9回幹事会 (昭.32.12.10) 出席者：幹事長外 21 名。報告：1) 土木賞委員について、2) 第4回海岸工学講演会。協議事項：1) 1月行事について、2) 2月行事について、3) 講習会日程について。**第10回幹事会** (昭.33.1.14) 出席者：幹事長外 22 名。報告：1) 1) 1月行事、2) 3月行事。協議事項：1) 2月行事、2) 次期支部長推薦について。**役員会** (昭.32.12.10) 出席者：石田支部長外 38 名。**学生見学会** (昭.32.12.7~8) 岐阜県大野郡白川村御母衣ダム工事現場。参加者 25 名。**講演会** (昭.33.1.28) 題目および講演者次のとおり。

欧米の土質事情 (スライド併用) 京大助教 松尾新一郎
世界主要都市の交通事情 (スライド併用) 大阪市交通局 田中 幸二

役員異動 1) 新任評議員 長野県土木部長 穂積健茂、同幹事 石川県土木部計画課長 越田嘉一。2) 退任幹事 石川県土木部河港砂防課長 由良 勇。**第11回幹事会** (昭.33.2.12) 出席者：21 名。議事：報告事項 a) 1月行事について、b) 2月行事について、c) 後期普通交付金について。協議事項 a) 昭和 33 年度行事予定について、b) 昭和 33 年度予算について。c) その他の事項。**役員会** (昭.33.3.4) 出席者：石田支部長外 32 名。議事：次期支部長に建設省中部地方建設局長 中島 武氏を推薦し満場一致決定した。**見学会** (昭.33.2.22) 愛知用水公団曲池ダム工事現場、参加者約 180 名。**講習会** (昭.33.3.24~25) 場所：名交会館。聴講者 150 名。講師および題目：

港湾防災	運輸省港湾局長	天 堃 良 吉
都市防災	東京消防庁予防部調査課	塚 本 孝 一
気象災害	名古屋気象台予報課長	添 田 春 雄
鉄道防災	国鉄札幌工務局長	坂 本 真 雄
特別講演	名古屋市助役	田 淵 寿 郎

支部所在地移動 名古屋市昭和区狭間町 30 建設省中部地方建設局計画検査課内 (電 名古屋 (73) 2561~2566 内線 44)

役員の異動

(1) 新任

評議員 国鉄 岐阜工務局長 小田 仁
幹 事 静岡県土木部河港課 木戸 眞 朔
" 名古屋鉄道KK土木部次長 榎 修 仁

(2) 辞任

評議員 吉田朝次郎、高橋与三郎
幹 事 早川増一郎、菱田英三

関西支部 「最近の海外土木技術」講習会 (昭.33.3.27~28, 大阪中之島中央公会堂) 聴講者 378 名 (関西支部管外 20 県より 61 名) 講習題目および講師は土木学会

誌第 43 巻第 1号で予告したとおりであつて非常に盛況のうちに終了した。

西部支部 総会 (昭.33.3.7) 14 時から開催に先立ち次の記念講演を行い、引続き総会に入り事業報告、会計報告、支部長常議員の改選を行った。

記 念 講 演：1) 道路雑感

日本道路公団総裁 岸 道三

2) 道路雑話

福岡県土木部長 兼 重 信 雄

新 支 部 長：九大教授 渡 辺 寛 治

新地区常議員：吉川吉三、篠原謹爾、野田勝美

留任常議員：坂田静雄、田賀秀和、江里口正夫

商 議 員：田代信雄、兼重信雄、佐藤康治

鷲崎文雄、齋藤隆一、上野省二

河村 茂、松尾博茂、長谷川正勝

藤芳義男、川上謙太郎、蓮尾誌藏

田中敬親、西松康友、江口辰五郎

田中武夫、東条哲夫、兼重 讓

上ノ土 実、田中寛二

幹 事 長：小松雅彦

幹 事：立部平助、日向野良世、直村徳三

山内豊聰、横田光彦、有田 進

古賀公平、小金丸義雄

関係学協会その他

日本学術会議 a) 研究費委員会小池委員長から昭和 33 年度文部省科学研究費等分科審議会委員 (土木工學部門) を次のとおり文部省に推薦したとの通知に接した。

(3月4日付) 留任委員 東大教授 平井 敦、新任委員 阪大教授 田中 清。b) 第26回総会を4月16日~18日に開催するから各位の傍聴を希望するとの案内に接した。c) 溶接研究連絡委員会と溶接学会と共催で第3回溶接シンポジウムが3月24日国立科学博物館において開催された。

国際大ダム会議日本国内委員会 3月10日 国際大ダム会議前総裁コイン氏の講演会を開催し、終つてカクテル パーティーを催した。

国際技術協力会 3月18日 創立総会を催した。

東京建設業協会 3月27日 75 周年記念祝賀会を椿山荘において開催した。

発電水力協会 3月27日 東京建設会館大会議室において講演会開催、演題「東南アジア電源開発について」日本工営KK社長 久保田 豊氏。

土木工學 論文抄録 第3集 特価：250 円 (〒70 円)

" 第4集 特価：225 円 (〒70 円)

" 第5集 特価：800 円 (〒80 円)

名古屋市地下鉄道第2期線工事着手

32年11月15日名古屋駅一栄町間第1期工事完了開業後、引続いて栄町-池下間3440mの第2期線の工事準備中のところ、諸般の準備も完了して、33年2月28日工事着手となった。本区間には国鉄中央線と千種駅で立体交差するほか、終点池下駅に地下鉄道用車庫を建設する予定となつている。

姫路市にロープウェイ開通

姫路市の近郊の書写山(標高362m)に3月19日ロープウェイが開通した。このロープウェイは三線交走式索道であつて、延長は757m、搬器の乗車人員は31人、速度は3.6m/secである。

コンクリートパンフレット

各号共 A・5判 1部 60円 十 10円
他号は省略、御一報次第図書目録進呈
全国丸善書店などでも販売中

15号 コンクリート道路 (改訂版) 100ページ

日本道路公団 樽井常忠氏執筆
名神高速道路愛岐建設所

昭和31年に改訂になつた土木学会のコンクリート舗装標準示方書および日本道路協会のセメントコンクリート舗装要綱に基づき初版を全面的に改訂増補したものでコンクリート舗装全般にわたり技術者向にわかりやすく説明してある。

54号 コンクリート工作 96ページ

京都大学教技 工博 近藤泰夫氏執筆

中学・高校用の教材としては勿論、簡易なコンクリートの工事や工作物を造る上に好適

近刊/コンクリートクイ 約70ページ

56号 設計・製作・打込

大同コンクリート工業K.K. 綾 亀一氏訳

月刊
セメントコンクリート No. 129

コンクリート骨材特集

B・5版 166ページ

1部 150円 十 20円

各地方に生産される骨材分布と品質を始め
その他骨材のあらゆる問題を集大成した決定版。

東京都港区赤坂台町1番地の2
社団法人 **日本セメント技術協会**
振替 東京 196803 電話 (48) 8541~3

会員現在数(昭.33.3.31現在)

名誉員	賛助員	特1級A	B	C	特2級	特3級	正員	准員	学生員	合計	減少
22	30	15	11	71	112	91	7328	5536	865	14081	26

昭和33年3月分入退会報告(昭.33.3.1~3.31)

1. 入会 44名(正23, 准14, 学生7) 2. 退会 70名(正21, 准29, 学生19, 特3級1)
3. 転格 380名(准より正へ1, 学生より准へ379)

正員	小川清君	埼玉県北埼玉郡忍町	逝去
"	山田博愛君	中野区新井町471	"
"	宮崎孝介君	前島根県土木部砂防課長	"
准員	岩根孝夫君	岡山県英田郡作東町江見250	昭和33年3月19日逝去 享年23才

昭和33年4月10日印刷

印刷者 大沼正吉
編集兼発行者 中川一美

定価 100円

昭和33年4月15日発行

印刷所 株式会社技報堂
発行所 社団法人土木学会
振替 東京 16828番

土木学会誌 第43巻 第4号

東京都港区赤坂溜池5番地
東京都新宿区四谷一丁目(外濠公園入口)
電話 (35) 5130・5138・5139番